お知らせ

第 67 回日本卵子学会学術集会を開催いたします．多くの皆様のご参加をお待ちしております．

■大会の形式■

本学術集会は現地会場開催をメインに，いくつかのセッションを会場収録し後日オンデマンド配信いたします．
※ライブ配信は，おこないません．

●現地開催：2026 年 6 月 6 日（土）～ 6 月 7 日（日）
● Web 開催（オンデマンド配信①【日本専門医機構単位付与対象期間】）：
2026 年 6 月 12 日（金）10:00 ～ 6 月 19 日（金）10:00
※下記単位ご希望の方は 6 月 19 日（金）10:00 までに視聴してください．
• 日本専門医機構単位
● Web 開催（オンデマンド配信②【視聴のみ期間／日本専門医機構単付は付与されません】）：
2026 年 6 月 19 日（金）10:00 ～ 7 月 19 日（日）18:00
※下記単位ご希望の方は 7 月 19 日（日）18:00 までに視聴してください．
• 日本生殖医学会生殖医療専門医ポイント：5 点
• 日本産婦人科医会研修参加証：1 単位

■ご参加の方へ■

1. 参加登録期間
現地参加：2026 年 4 月 28 日（火）12:00 ～ 6 月 7 日（日）16:30
Web 参加：2026 年 4 月 28 日（火）12:00 ～ 7 月 19 日（日）16:00
うち日本専門医機構単位付与対象期間：2026 年 4 月 28 日（火）12:00 ～ 6 月 19 日（金）9:00
（コンビニ決済：7 月 13 日（月）24:00 まで）

2. 参加費

会　員：	13,000 円	不課税
非会員：	15,000 円	課税 / 消費税 10％込
学　生：	5,000 円 *	課税 / 消費税 10％込
研究交流会： 無料		

* 学生の方は，登録時に学生証の添付（pdf，jpeg など）が必要となります．
ご準備のうえ参加登録を開始してください．

第 67 回大会ホームページ
https://jsor67.umin.jp/

・参加受付は，すべてオンライン参加登録制とさせていただきます．
・第 67 回大会ホームページより，オンライン参加登録・決済を完了してください．
・当日，会場での参加登録（参加費支払い）はできません．
・参加登録完了後，自動送信メールをお送りします．メールが届いていない場合は，ホームページよりお問合せください．
・決済完了後の返金はいたしませんので，ご了承ください．
・現地参加の方は，Web 参加（後日オンデマンド配信）も可能です．
・現地参加の方は，参加登録後に送信されるメールに記載の QR コード（参加章引換券）を印刷もしくはスマートフォン等にダウンロードして，当日会場にお持ちください．

3. 学会参加章引き換えデスク受付時間（2F ロビー）
   2026 年 6 月 6 日（土） 8:20 ～ 17:30
   2026 年 6 月 7 日（日） 8:15 ～ 16:30
   ※午前中ご発表の方などで学会参加章引き換えデスクが混み合っている場合は，ご発表終了後に改めてお越しください．
4. クローク受付時間（2F ロビー）
   2026 年 6 月 6 日（土） 8:20 ～ 18:00
   ※研究交流会（無料懇親会）参加の方は，クロークで荷物を引き取ったのち研究交流会場へご移動ください．
   2026 年 6 月 7 日（日） 8:15 ～ 17:00
5. 参加章について
   会場（学術集会・研究交流会）では必ず参加章をご着用ください．
6. 共催セミナーについて
   チケット制ではございません．直接各会場へお越しください．
   ※モーニングセミナー，ランチョンセミナー，アフタヌーンセミナーのお弁当や軽食の配布は先着順となります．数に限りがございますので行き渡らない場合はご容赦願います．
7. ハンズオンセミナーについて
   2026 年 6 月 6 日（土） 13:00 ～ 17:00（共催：Lavima Fertility, Inc.）
   2026 年 6 月 7 日（日） ① 10:20 ～ 11:20，② 11:30 ～ 12:30，③ 13:50 ～ 14:50
   （共催：株式会社ファルコバイオシステムズ）
   ※開催時間は予定です．詳細につきましては，第 67 回大会ホームページをご覧ください．
8. 研究交流会について
   日時：2026 年 6 月 6 日（土） 17:45 ～ 18:45
   会場：第 3 会場（1F 多目的ホール C+D）
   参加費：無料
   先着 300 名様予定で抽選会を企画中です．コエドビールなど埼玉ゆかりのアルコール飲料などもご用意いたしますので，ぜひご参加ください．詳細は今後 HP に掲載いたします．

■座長の方へ■

時間通りの進行をお願いいたします．ご担当されるセッション開始時間の 10 分前までに，会場内前方の「次座長席」にご着席ください．

■口演発表者の方へ■

1. 今回，オンデマンド配信用に当日講演収録（スライドと音声）をおこないます．収録対象セッションは別ページの日程表で確認してください．学会参加章引き換え後，ご発表セッション開始予定時刻の 30 分前までに PC 受付をおこない，20 分前までに会場内前方の「次演者席」にご着席ください．PC 持ち込みの方も，30 分前までに PC 受付へお越しください．
2. PC 受付時間（2F ロビー）
   2026 年 6 月 6 日（土） 8:20 ～ 18:00
   2026 年 6 月 7 日（日） 8:15 ～ 16:30
3. 発表時間
   優秀演題賞候補，一般演題：発表 7 分，討論 3 分，指定演題は運営事務局より個別にご連絡いたします．
4. 発表方法に関しまして
   ① 発表形式は PC 発表です．
   ② 発表データは，原則 16：9 サイズでご作成ください（4：3 サイズも映写可能です）．
   ③ 会場へは，USB メモリ，パソコン本体のいずれかの形で発表データをお持ち込みください．

④ パワーポイントの「発表者ツール」機能は使用できません.
⑤ PC 受付のパソコンは台数が限られております．受付パソコンを独占しての長時間データ修正はご遠慮ください．学会場ではレイアウト修正のみとし，データ修正等は事前に済ませてから PC 受付へお越しください.

● USB メモリをお持ち込みの方への注意事項
① ソフトは，以下のものをご使用ください.
Microsoft PowerPoint
※ Mac をご使用の方は，PC をお持ち込みください.
※動画ファイルをご使用の方も PC をお持ち込みください.
② フォントは OS 標準のもののみご使用ください.

●ノート PC をお持ち込みの方への注意事項
① バックアップとして必ずメディア（USB メモリ）もお持ち込みください.
② PC 受付の液晶モニターに接続して映像の出力チェックをおこなってください.
③ PC の機種や OS によって，出力設定方法が異なります.
④ プロジェクターとの接続ケーブルは，HDMI です.
⑤ PC によっては専用のコネクタが必要になりますので，必ずお持ちください．VAIO，MacBook 等小型 PC は，別途付属コネクタが必要な場合がありますので，くれぐれもご注意ください.
⑥ スクリーンセーバー，省電力設定は事前に解除をお願いいたします.
⑦ コンセント用電源アダプタを必ずお持ち込みください．内蔵バッテリー駆動ですとご発表中に映像が切れる恐れがあります.

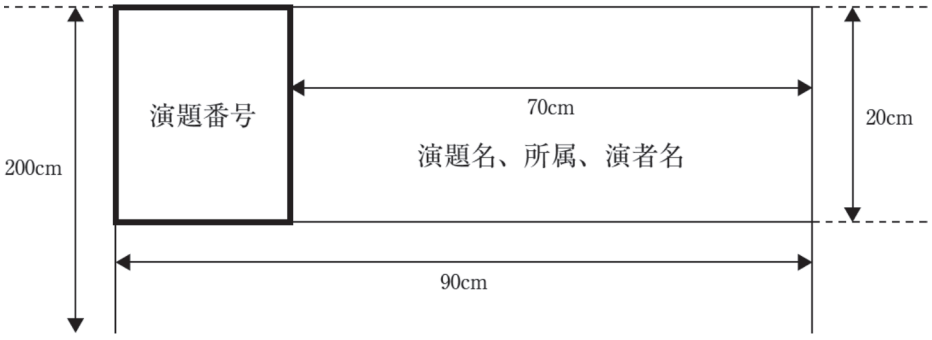
5. 演題発表時の利益相反状態開示方法について
学術講演会における演題発表時の利益相反状態開示方法については，大会ホームページをご覧ください.

■ポスター発表者の方へ■

1. ポスター発表スケジュール

	ポスター掲示	ポスター閲覧	ポスター撤去
6 月 6 日（土）	8:30 ～ 10:00	10:00 ～ 17:00	
6 月 7 日（日）		8:30 ～ 16:30	16:30 ～ 17:30

2. ポスター作成要領



① ポスター受付はございません．掲示時間内（6 月 6 日（土）8:30 ～ 10:00）にご自身の演題番号パネルに掲示してください.
② パネルの有効部分は，縦 200 cm ×横 90 cm です．演題名・所属・演者名は，縦 20 cm× 横 70 cm の枠内におさめてください（上図参照）.
③ 演題番号は事務局で用意いたします．パネルへの掲示固定には会場に用意した画鋲をご使用ください.
④ 撤去時間（6 月 7 日（日）16:30 ～ 17:30）内に撤去されないポスターは処分します．処分ご希望の方も必ずポスターをパネルから外し，付近の床にまとめておいてください.

3. 利益相反状態の開示について
発表時には，利益相反状態の開示をお願いします．利益相反の有無を，ポスター掲示にて開示して下さい（第67回大会ホームページにサンプルデータを掲載しています）．

4. ポスター賞受賞演題
① P-011　使用済み胚培養液を用いた非侵襲的着床前遺伝学的検査（niPGT-M）における診断精度に影響する因子の検討　佐藤はづき 先生
② P-028　胚盤胞における細胞質ストリングスの総形成数は臨床妊娠に影響を与えるか　島津茉里奈 先生

■単位について■

〈現地参加の方〉
・参加章に印字されたQRコードで登録をおこないます．
・日本専門医機構の認定講習は，各講習会場で対象セッション開始前に受付をいたします．開始時間10分を過ぎた場合，聴講は可能ですが，日本専門医機構単位は付与されませんのでご了承ください．また，原則途中退出は認められません．

〈Web参加の方〉
● オンデマンド配信①【単位付与対象期間】：2026年6月12日（金）10:00～6月19日（金）10:00
・単位付与対象期間内にWeb視聴した場合に，単位取得が可能となります．
・日本専門医機構単位が必要な方は，上記オンデマンド配信①の視聴期間内にWeb視聴を必ずお済ませください．
・対象セッションを最初から最後まで視聴していただくと，単位が付与されます．

〈対象セッション〉（単位申請中）

日時	セッション名	演題名	取得単位
現地開催：6月6日（土）10:10～11:10 Web視聴：6月12日（金）10:00 ～6月19日（金）10:00	シンポジウム1	CAPA-IVMの基礎と臨床	産婦人科領域講習
現地開催：6月6日（土）12:30～13:30	ランチョンセミナー2	「流産の因果を解剖する」 ―NGS時代のPOC解析とMicrobiomeが描く新パラダイム―	産婦人科領域講習
現地開催：6月6日（土）13:40～15:10 Web視聴：6月12日（金）10:00 ～6月19日（金）10:00	シンポジウム2	再生医療と卵子・卵巣	産婦人科領域講習
現地開催：6月6日（土）15:20～16:20 Web視聴：6月12日（金）10:00 ～6月19日（金）10:00	シンポジウム3	亜鉛と卵子をめぐる最新トピック	産婦人科領域講習
現地開催：6月6日（土）15:20～16:20	アフタヌーンセミナー	胚のタイムラプス画像による非侵襲的胚核型予測AIモデルの臨床応用に向けて	産婦人科領域講習
現地開催：6月7日（日）8:30～9:30	モーニングセミナー	生殖医療における最新トピック ―患者さん一人ひとりの“出産”を支える―	産婦人科領域講習
現地開催：6月7日（日）12:40～13:40	ランチョンセミナー4	妊孕性を拓く最新の生殖外科・不妊治療戦略 ～大学病院とクリニックからの実践報告～	産婦人科領域講習
現地開催：6月7日（日）13:50～15:20 Web視聴：6月12日（金）10:00 ～6月19日（金）10:00	シンポジウム5	厚生労働科学研究費補助金（厚労科研）研究共催セッション「凍結検体の保管体制の手引き」を議論する	産婦人科領域講習

■理事会，臨時総会，各種表彰式■

理事会：2026 年 6 月 5 日（金） 15:00 ～ 17:00　料亭 山屋（埼玉県川越市幸町 11-2　Tel. 049-224-0048）
臨時総会：2026 年 6 月 7 日（日）11:30 ～ 12:30　ウェスタ川越 2F　第 1 会場

＊各種表彰式は，臨時総会の中でおこないます.

■日本卵子学会年会費■

日本卵子学会ホームページ
https://jsor.or.jp/

年会費（2026 年度分）が未納の方は，日本卵子学会ホームページの会員専用ページにログイン後，クレジットカード決済を行うか，下記口座までお振込みください.

ゆうちょ銀行　〇一九店（ゼロイチキュウテン）
当座預金　790520　一般社団法人日本卵子学会

■撮影・録音について■

講演会場内での撮影・録音は，学会側が認めた場合以外，禁止となります.
Web 視聴ページ内の写真・スライド・映像・音声の著作権は，著作者・団体に帰属します．画面の録画，静止画記録，録音での保存や転載は固く禁止いたします.

■オンデマンド配信用の収録について■

現地開催当日に，一部のプログラムについてはオンデマンド配信用の収録をおこないます.
質疑なども収録されますので，予めご了承のほどお願いいたします.

■プログラム所属表記について■

統一表記で記載しておりますことをご了承ください.

■服装等について■

会場へはビジネスカジュアル（ジャケットやネクタイは任意）でお越しください.

■お問合せ先■

第 67 回日本卵子学会学術集会運営事務局
株式会社 MA コンベンションコンサルティング
TEL：03-5275-1191 ／ FAX：03-5275-1192
E-mail：jsor67@macc.jp

会場への交通案内

ウェスタ川越

所在地

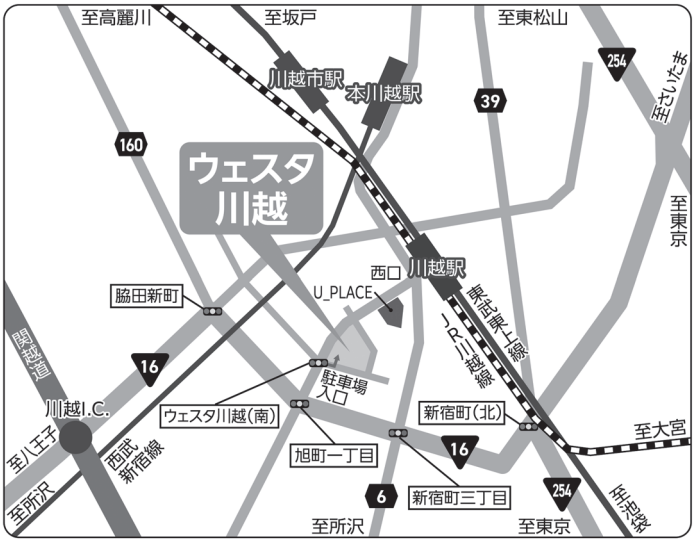
〒350-1124
埼玉県川越市新宿町1-17-17

■JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
■西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分

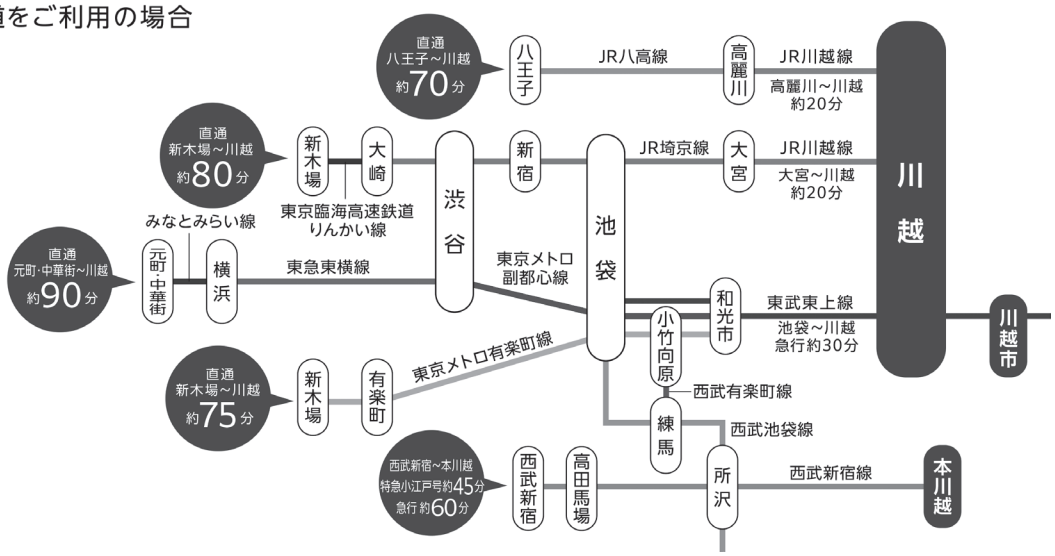
「本川越駅」よりバスをご利用の場合

■「本川越駅」西武バス乗り場 ①番
- 新所02、本55系統
「川越駅西口」下車 徒歩約5分
- 本53、本54系統
「ウェスタ川越前」下車すぐ

■「本川越駅」西武バス乗り場 ②番
- 川越35、川越35-1系統
「ウェスタ川越前」下車すぐ

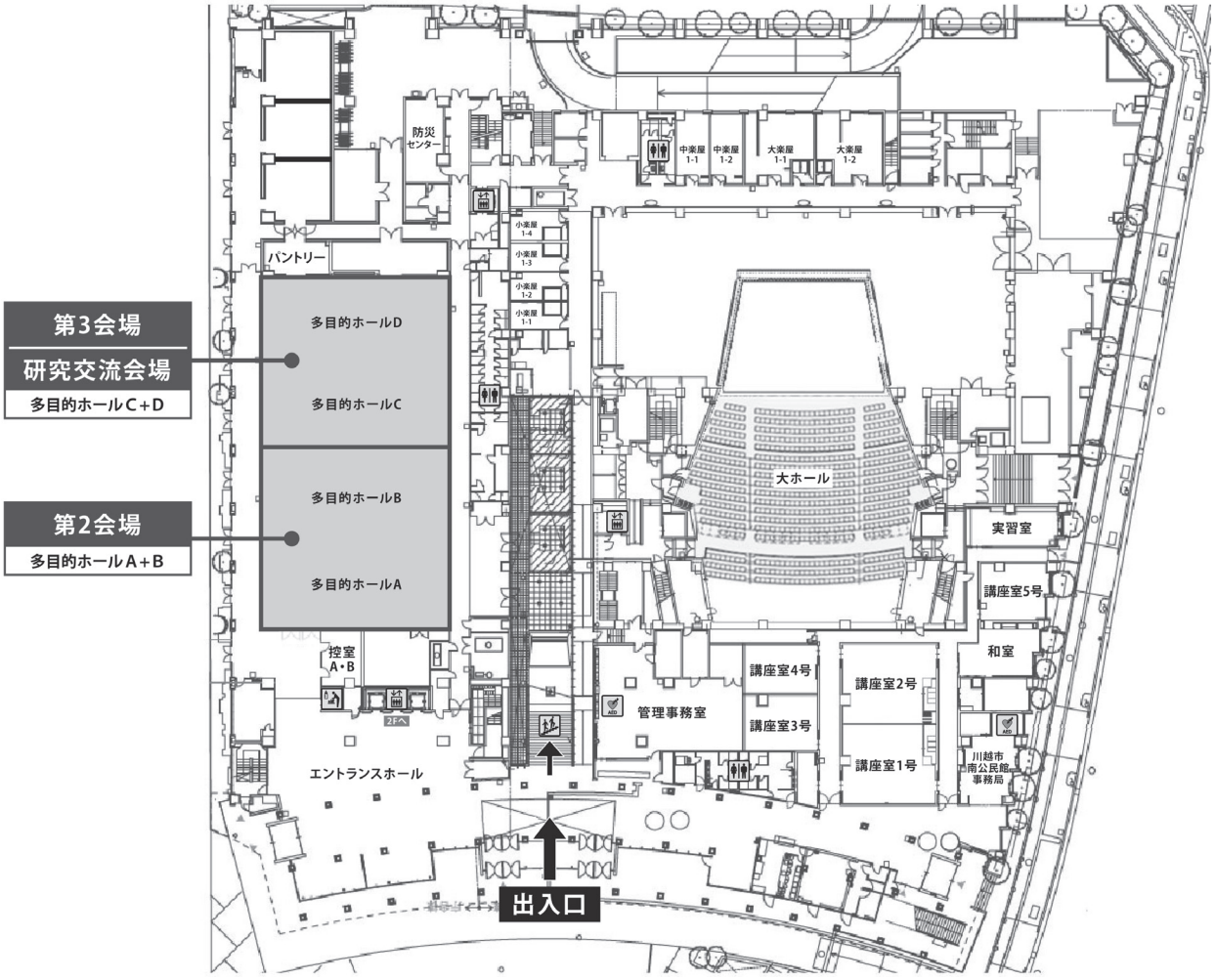


鉄道をご利用の場合

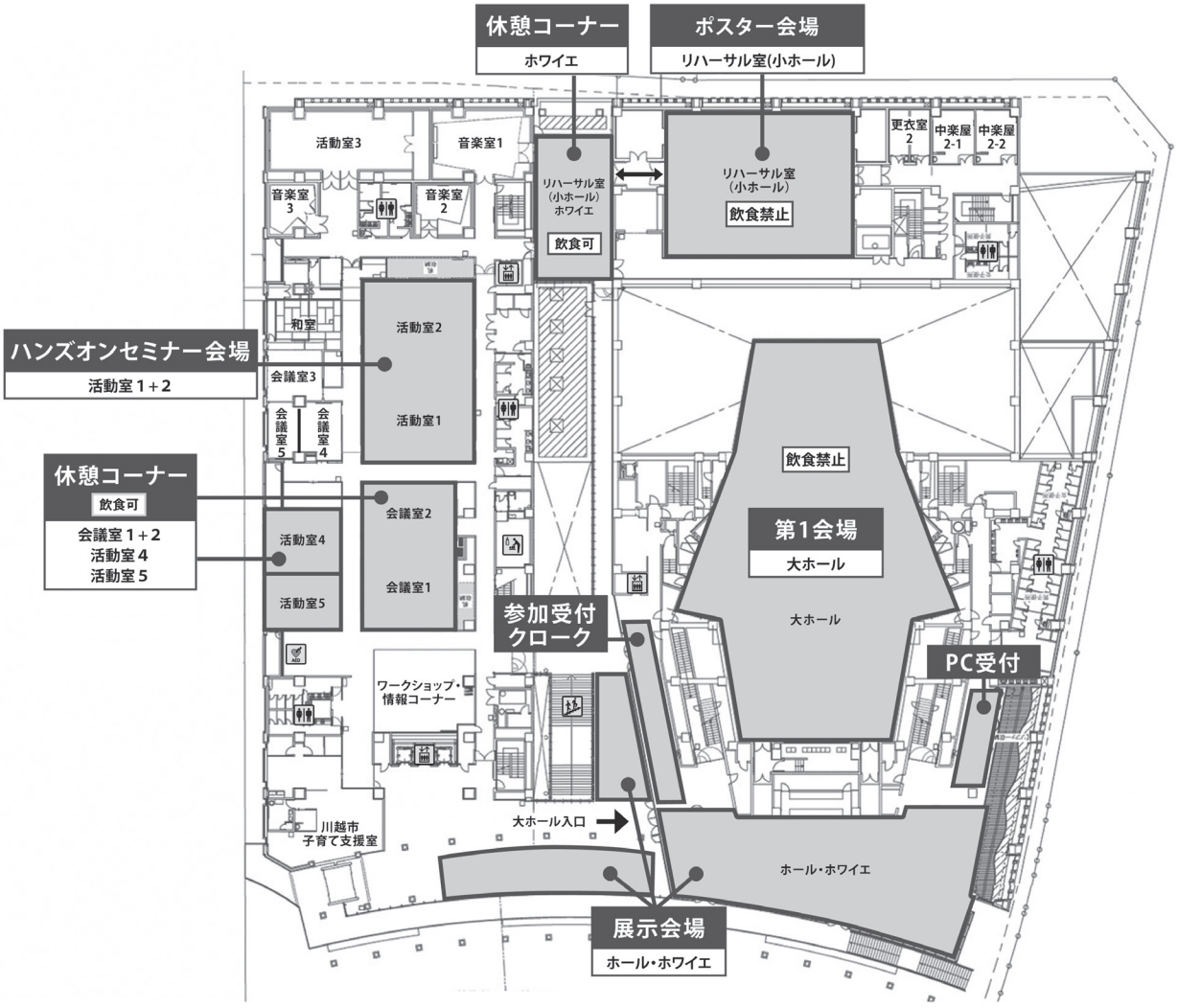


会場案内図

ウェスタ川越　1F



ウェスタ川越　2F


休憩コーナー
ホワイエ
ポスター会場
リハーサル室(小ホール)
活動室3
音楽室1
音楽室3
音楽室2
リハーサル室(小ホール)ホワイエ
飲食可
リハーサル室(小ホール)
飲食禁止
更衣室2
中楽屋2-1
中楽屋2-2
和室
活動室2
活動室1
ハンズオンセミナー会場
活動室1+2
会議室3
会議室5
会議室4
休憩コーナー
飲食可
会議室1+2
活動室4
活動室5
会議室2
会議室1
飲食禁止
第1会場
大ホール
大ホール
参加受付
クローク
PC受付
ワークショップ・情報コーナー
川越市子育て支援室
大ホール入口
ホール・ホワイエ
展示会場
ホール・ホワイエ

日　程　表

6月6日（土）（1日目）

ウェスタ川越

第1会場　2F 大ホール

8:20 ～ 受付開始

開会の辞

9:00–10:00
優秀演題賞候補
H-001 ～ H-006
座長：伊藤　潤哉
吉野　修

10:10-11:10 OD P
シンポジウム 1
CAPA-IVM の基礎と臨床
座長：髙井　泰
演者：Johan Smitz
森本　篤
共催：Lavima Fertility, Inc.

11:20-12:20 OD
特別講演
人類は過酷な宇宙で繁栄できるだろうか？～無重力，宇宙放射線，そして近交退化の問題について～
座長：髙井　泰
演者：若山　照彦

13:40-15:10 OD P
シンポジウム 2
再生医療と卵子・卵巣
座長：河村　和弘
浜谷　敏生
演者：Sanath Udayanga Kankanam Gamage
Jung Ryeol Lee
河村　和弘

15:20-16:20 OD P
シンポジウム 3
亜鉛と卵子をめぐる最新トピック
座長：岩田　尚孝
片桐　由起子
演者：八尾　竜馬
伊藤　潤哉

16:30-17:30 OD
エキスパート・ラウンドテーブル
胚培養士の疑問に答える―配偶子・胚の操作を伴うオプション医療（IMSI，PICSI，PGT，AH，SEET，ZyMot，IVM，タイムラプスなど）のコツや Quality Control
座長・演者：
小林　達也・泊　博幸・井上　岳人

第2会場　1F 多目的ホール A＋B

9:00-10:00
一般演題 1　卵母細胞①（基礎）
O-001 ～ O-006
座長：安齋　政幸

10:10-11:10
一般演題 2　タイムラプス①（臨床）
O-007 ～ O-012
座長：家田　祥子

11:20-12:20
一般演題 3　接合子・胚①（臨床）
O-013 ～ O-018
座長：浜谷　敏生

12:30-13:30
ランチョンセミナー1
ICSI のコツ / オイルの選び方
座長：小林　達也
演者：**泊　博幸**
共催：扶桑薬品工業株式会社

13:40-14:40
一般演題 4　タイムラプス②（臨床）
O-019 ～ O-024
座長：福永　憲隆

14:50-15:50
一般演題 5　精子・精巣①（臨床）
O-025 ～ O-030
座長：北島　道夫

16:00-16:40
一般演題 6　精子・精巣②（基礎・臨床）
O-031 ～ O-034
座長：山下　泰尚

16:50-17:30
Breakthrough Report ―POI 最新知見―
座長：河野　康志
演者：河村　和弘

第3会場　1F 多目的ホール C＋D

9:00-10:00
一般演題 7　ICSI（臨床）
O-035 ～ O-040
座長：中條　隼大

10:10-11:10
一般演題 8　早発卵巣不全・POR（臨床）
O-041 ～ O-046
座長：河村　和弘

11:20-12:20
一般演題 9　胚凍結・融解（臨床）
O-047 ～ O-052
座長：泊　博幸

12:30-13:30 P
ランチョンセミナー 2
「流産の因果を解剖する」―NGS 時代の POC 解析と Microbiome が描く新パラダイム―
座長：寺田　幸弘
演者：市山　卓彦
共催：Varinos 株式会社

13:40-14:20
一般演題 10　接合子・胚②（基礎）
O-053 ～ O-056
座長：岩田　尚孝

14:30-15:10
一般演題 11　接合子・胚③（基礎）
O-057 ～ O-060
座長：宮本　圭

15:20-16:20 P
アフタヌーンセミナー
胚のタイムラプス画像による非侵襲的胚核型予測 AI モデルの臨床応用に向けて
座長：向田　哲規
演者：前川　亮
共催：株式会社メデタ

ハンズオンセミナー会場：2F
活動室 1＋2
13:00-17:00
共催：Lavima Fertility, Inc.

17:45-18:45
研究交流会

ポスター　2F リハーサル室（小ホール）

8:30-10:00
ポスター掲示

10:00-17:00
ポスター閲覧

P：日本専門医機構認定産婦人科領域講習　　OD：オンデマンド配信

6月7日（日）（2日目）

ウェスタ川越

	第1会場 2F 大ホール	第2会場 1F 多目的ホールA＋B	第3会場 1F 多目的ホールC＋D	ポスター 2F リハーサル室 （小ホール）
8:15				
8:30	8:15～ 受付開始		8:30-9:30 P **モーニングセミナー** 生殖医療における最新トピック ―患者さん一人ひとりの“出産”を支える― 座長：塩谷 雅英 演者：宮崎 薫・齊藤 和毅 共催：フェリング・ファーマ株式会社	8:30-16:30
9:00				
10:00	9:40-10:40 OD **シンポジウム 4** **胚培養士資格制度の現状と課題** 座長：髙橋 俊文・家田 祥子 演者：髙井 泰・舟橋 弘晃・津川 律子	9:40-10:30 **一般演題 12 卵母細胞②（基礎）** **O-061～O-065** 座長：島田 昌之	9:40-10:30 **一般演題 15 卵巣（基礎・臨床）** **O-077～O-081** 座長：山田 満稔	
11:00	10:50-11:20 OD **学会賞受賞講演** 座長：村上 節 演者：寺田 幸弘			
12:00	11:30-12:30 **臨時総会**	11:30-12:30 **一般演題 13 接合子・胚④（臨床）** **O-066～O-071** 座長：杉下 陽堂	11:30-12:30 **一般演題 16 妊孕性温存（臨床）** **O-082～O-087** 座長：立花 眞仁	**ポスター閲覧**
13:00		12:40-13:40 **ランチョンセミナー 3** 凍結・融解プロトコール最適化への挑戦 ―賛否議論から革新へ― 座長：木村 直子 演者：服部 裕充 共催：株式会社リプロライフ	12:40-13:40 P **ランチョンセミナー 4** 妊孕性を拓く最新の生殖外科・不妊治療戦略 ～大学病院とクリニックからの実践報告～ 座長：木村 文則 演者：鮫島 浩輝・杉下 陽堂 共催：テルモ株式会社	
14:00	13:50-15:20 OD P **シンポジウム 5** **厚生労働科学研究費補助金（厚労科研）研究共催セッション「凍結検体の保管体制の手引き」を議論する** 座長：鈴木 直・泊 博幸 演者：菊地 裕幸・水野 里志・沖村 匡史・武内 大輝・沖津 摂	13:50-14:40 **一般演題 14 タイムラプス③（臨床）** **O-072～O-076** 座長：岩瀬 明	13:50-14:40 **一般演題 17 着床（臨床）** **O-088～O-092** 座長：片桐 由起子	
15:00		**ハンズオンセミナー** **会場：2F 活動室1＋2** ① 10:20-11:20 ② 11:30-12:30 ③ 13:50-14:50 共催：株式会社ファルコバイオシステムズ		
16:00	15:30-16:30 OD **シンポジウム 6** **胚培養士セッション** **「私は○○のため研究（学術活動）を始めました！」** 座長：河村 和弘・小林 達也 演者：斎藤 朱里・小野 有紀			
17:00	**開会の辞**			16:30-17:30 **ポスター撤去**
17:30				

P：日本専門医機構認定産婦人科領域講習　OD：オンデマンド配信

第 67 回日本卵子学会学術集会　プログラム

特別講演　2026 年 6 月 6 日（土）　11:20-12:20　第 1 会場

座長：髙井 泰（埼玉医科大学総合医療センター　産婦人科）

人類は過酷な宇宙で繁栄できるだろうか？～無重力，宇宙放射線，そして近交退化の問題について～

若山 照彦（山梨大学　発生工学研究センター）

シンポジウム 1　OD P　2026 年 6 月 6 日（土）　10:10-11:10　第 1 会場

CAPA-IVM の基礎と臨床

座長：髙井 泰（埼玉医科大学総合医療センター　産婦人科）

Capacitation culture: on the way to resolve oocyte immaturity in hormone-free IVM

Johan Smitz（Vrije Universiteit Brussel）

CAPA-IVM の成績変動をどう克服するか ― 採卵操作と COC 損傷の観点から

森本 篤（HORAC グランフロント大阪クリニック　医局部門）

共催：Lavima Fertility, Inc.

シンポジウム 2　OD P　2026 年 6 月 6 日（土）　13:40-15:10　第 1 会場

再生医療と卵子・卵巣

座長：河村 和弘（順天堂大学大学院　医学研究科　産婦人科学）
浜谷 敏生（藤田医科大学　臨床再生医学講座
藤田医科大学東京・先端医療研究センター　羽田クリニック・リプロダクションセンター）

生殖補助医療における胚質改善のための再生医療的アプローチ

Sanath Udayanga Kankanam Gamage（医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック）

Application of PRP in improving ovarian reserve and ovarian tissue transplantation

Jung Ryeol Lee（Seoul National University College of Medicine, Korea）

PFC-FD による卵巣機能改善への応用

河村 和弘（順天堂大学大学院　医学研究科　産婦人科学）

シンポジウム 3　OD P　2026 年 6 月 6 日（土）　15:20-16:20　第 1 会場

亜鉛と卵子をめぐる最新トピック

座長：岩田 尚孝（東京農業大学　農学部）
片桐 由起子（東邦大学　医学部　産科婦人科学講座）

ガラス器具から漏出する亜鉛の胚毒性と対策

八尾 竜馬（扶桑薬品工業株式会社　研究開発センター）

卵子における亜鉛イオンの恒常性と胚発生への影響：亜鉛は正の因子か，負の因子か

伊藤 潤哉（麻布大学　獣医学部）

シンポジウム 4 OD　2026 年 6 月 7 日（日）　09:40-10:40　第 1 会場

胚培養士資格制度の現状と課題

座長：髙橋 俊文（福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター）
家田 祥子（みなとみらい夢クリニック）

胚培養士資格制度に関する日本産科婦人科学会の取り組み
髙井 泰（埼玉医科大学総合医療センター　産婦人科）

胚培養士教育カリキュラム標準化への取組
舟橋 弘晃（岡山大学　学術研究院　環境生命自然科学学域）

公認心理師法成立までの歩み
津川 律子（日本大学　文理学部　心理学科／公益社団法人日本公認心理師協会　副会長）

シンポジウム 5 OD P　2026 年 6 月 7 日（日）　13:50-15:20　第 1 会場

厚生労働科学研究費補助金（厚労科研）研究共催セッション「凍結検体の保管体制の手引き」を議論する

座長：鈴木 直（聖マリアンナ医科大学　産婦人科学）
泊 博幸（医療法人アイブイエフ詠田クリニック　培養部）

凍結検体の保管・管理に関する注意点・推奨事項
菊地 裕幸（仙台 ART クリニック）

凍結保存タンクの管理に関する注意点・推奨事項
水野 里志（IVF 大阪クリニック　生殖技術部門）

凍結保存の更新，同意再確認手順に関する注意点・推奨事項
沖村 匡史（加藤レディスクリニック）

凍結検体の輸送に関する注意点・推奨事項
武内 大輝（三重大学医学部附属病院　産科婦人科）

災害・インシデントに対する ART ラボの注意点・推奨事項
沖津 摂（医療法人社団楠原ウィメンズクリニック　培養室）

シンポジウム 6 OD　2026 年 6 月 7 日（日）　15:30-16:30　第 1 会場

胚培養士セッション「私は○○のため研究（学術活動）を始めました !」

座長：河村 和弘（順天堂大学大学院　医学研究科　産婦人科学）
小林 達也（藤田医科大学　医療科学部
藤田医科大学東京　先端医療研究センター　リプロダクションセンター）

胚培養士の視点から臨床の「なぜ？」を研究へ ― 大学院進学という選択
斎藤 朱里（ローズレディースクリニック　培養部
藤田医科大学大学院　医療科学専攻　生体情報検査科学領域　生殖補助医療分野）

「面白い」を原動力に：臨床しながら研究する，悩みながら続ける「習慣化」の実際
小野 有紀（秋田大学大学院　医学系研究科　産婦人科学講座）

エキスパート・ラウンドテーブル OD　2026 年 6 月 6 日（土）　16:30-17:30　第 1 会場

胚培養士の疑問に答える－配偶子・胚の操作を伴うオプション医療（IMSI，PICSI，PGT，AH，SEET，ZyMot，IVM，タイムラプスなど）のコツや Quality Control

座長：小林 達也（藤田医科大学　医療科学部
藤田医科大学東京　先端医療研究センター　リプロダクションセンター）
泊 博幸（医療法人アイブイエフ詠田クリニック　培養部）
井上 岳人（岡山大学学術研究院　異分野融合教育研究領域
生殖補助医療技術教育研究センター）

胚培養士の疑問に答える－配偶子・胚の操作を伴うオプション医療のコツや Quality Control に関して
小林 達也（藤田医科大学　医療科学部
藤田医科大学東京　先端医療研究センター　リプロダクションセンター）
泊 博幸（医療法人アイブイエフ詠田クリニック　培養部）
井上 岳人（岡山大学学術研究院　異分野融合教育研究領域　生殖補助医療技術教育研究センター）

Breakthrough Report ―POI 最新知見―　2026 年 6 月 6 日（土）　16:50-17:30　第 2 会場

座長：河野 康志（大分大学　医学部　おおいた地域医療支援システム構築事業講座）

内服薬『フィネレノン』による早発卵巣不全患者の新たな不妊治療法
河村 和弘（順天堂大学大学院　医学研究科　産婦人科学）

学会賞受賞講演 OD　2026 年 6 月 7 日（日）　10:50-11:20　第 1 会場

座長：村上 節（滋賀医科大学　名誉教授）

私の卵子愛
寺田 幸弘（秋田大学大学院　医学系研究科　産婦人科学講座）

ランチョンセミナー 1　2026 年 6 月 6 日（土）　12:30-13:30　第 2 会場

座長：小林 達也（藤田医科大学　医療科学部
藤田医科大学東京　先端医療研究センター　リプロダクションセンター）

ICSIのコツ/オイルの選び方
泊　　博幸（医療法人アイブイエフ詠田クリニック　培養部）

共催：扶桑薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 2 P　2026 年 6 月 6 日（土）　12:30-13:30　第 3 会場

座長：寺田 幸弘（秋田大学大学院　医学系研究科　産婦人科学講座）

「流産の因果を解剖する」―NGS 時代の POC 解析と Microbiome が描く新パラダイム―
市山 卓彦（torch clinic）

共催：Varinos 株式会社

ランチョンセミナー 3　2026 年 6 月 7 日（日）　12:40-13:40　第 2 会場

座長：木村 直子（山形大学大学院　農学研究科・山形大学　農学部）

凍結・融解プロトコール最適化への挑戦 ―賛否議論から革新へ―
服部 裕充（京野アートクリニック仙台 / 高輪 / 盛岡）

共催：株式会社リプロライフ

ランチョンセミナー 4 (P)　2026 年 6 月 7 日（日）　12:40-13:40　第 3 会場

妊孕性を拓く最新の生殖外科・不妊治療戦略 ～大学病院とクリニックからの実践報告～

座長：木村 文則（奈良県立医科大学　産婦人科学）

大学病院における生殖外科の役割

鮫島 浩輝（埼玉医科大学総合医療センター）

ART 保険適用時代の不妊診療 ～一般不妊治療の再考～

杉下 陽堂（田園都市レディースクリニック）

共催：テルモ株式会社

アフタヌーンセミナー (P)　2026 年 6 月 6 日（土）　15:20-16:20　第 3 会場

座長：向田 哲規（広島ハートクリニック）

胚のタイムラプス画像による非侵襲的胚核型予測 AI モデルの臨床応用に向けて

前川 亮（奈良県立医科大学　医学部　産婦人科学講座）

共催：株式会社メデタ

モーニングセミナー (P)　2026 年 6 月 7 日（日）　08:30-09:30　第 3 会場

生殖医療における最新トピック ―患者さん一人ひとりの“出産”を支える―

座長：塩谷 雅英（英ウィメンズクリニック）

当院における提供精子を用いた生殖補助医療の実際

宮﨑 薫（はらメディカルクリニック）

ゴナドトロピンから考える胚質へのアプローチ

齊藤 和毅（東京科学大学）

共催：フェリング・ファーマ株式会社

優秀演題賞候補　2026 年 6 月 6 日（土）　9:00-10:00　第 1 会場

座長：伊藤 潤哉（麻布大学　獣医学部）
吉野 修（山梨大学　医学部　産婦人科）

H-001　低侵襲的母性転写物検出法と機械学習による胚発生能評価モデルの構築

○井上 明裕[1]・NicoleCheng[2]・塚口 智将[3]・魏 玉保[1]・山本 真里[3]・佐藤 英男[3]・西羅 彩花[3]・山内 伸彦[1]・宮本 圭[1]

[1] 九州大学生物資源環境科学府，[2]King Abdullah Unicersity of Science and Technology,
[3] 近畿大学生物理工学部

H-002　単為発生由来の雌性ゲノムを用いた卵子の創生と顕微授精によるマウスの誕生

○佐藤 壮樹[1,3]・立花 眞仁[2,3]・新沼さくら[1]・竹澤 美紀[1,3]・高橋 友梨[1,3]・久我 彰[3]・菅原 淳史[4]・高橋 藍子[3]・横山 絵美[2,3]・渡邉 善[2,3]・齋藤 昌利[1,2,3]

[1] 東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野，[2] 東北大学大学院医学系研究科 周産期医学分野,
[3] 東北大学病院 産婦人科，[4] 東北大学大学院農学系研究科 動物生殖科学分野

H-003　マウス受精時の Ca2+ オシレーション欠損は初期胚の染色体分離異常を介して胎子のゲノムコピー数異常を引き起こす

○杉田陽美季[1]・財部 駿介[1]・植原 紗季[1]・大友 茉奈[1]・影山 敦子[2]・井上 梓[3]・甲斐 義輝[4]・若井 拓哉[5]・日野 敏昭[6]・岡本 麻子[6]・堀家 慎一[7]・山下 直樹[4]・村上 裕信[1,2]・鴨下 真紀[1,2]・伊藤 潤哉[1,2]

[1] 麻布大学大学院獣医学研究科，[2] 麻布大学獣医学部，[3] 理化学研究所，[4] 山下湘南夢クリニック,
[5] 岡山大学大学院環境生命科学研究科，[6] 旭川医科大学医学部,
[7] 金沢大学疾患モデル総合研究センター

H-004　子宮内膜症性嚢胞と共存する原始卵胞は妊孕性を保持するが，残存内膜症がマクロファージ介在性線維化により移植卵巣組織の妊孕能を損なう

○吉田 司・佐藤 可野・岡本 直樹・寺尾 泰久・河村 和弘
順天堂大学医学部 産婦人科学講座

H-005　なぜ双極紡錘体を形成したヒト接合子が多核化するのか：紡錘体形状と中期板拡散の歪みが引き起こす後期染色体分散の連鎖

○小野 有紀[1]・後藤真由美[1]・津谷明香里[1]・髙橋 和政[1]・岩澤 卓也[1]・白澤 弘光[1]・福永 憲隆[2]・浅田 義正[2]・熊澤由紀代[1]・寺田 幸弘[1]
[1] 秋田大学大学院医学系研究科産婦人科学講座，[2] 医療法人浅田レディースクリニック

H-006　定量評価した胚盤胞形態と周産期転帰の関連：探索的研究

○宇津野宏樹[1]・石丸 智子[1]・松本 美保[1]・髙橋ひかる[1]・内田 志穂[2]・祝井 麻希[2]・佐々木拓幸[2]・上條慎太郎[2]・内田 明花[2]・山田 満稔[2]・田中 守[2]
[1] 慶應義塾大学病院，[2] 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

一般演題 1（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　9:00-10:00　第 2 会場

卵母細胞①（基礎）　**座長：安齋 政幸（近畿大学先端技術総合研究所）**

O-001　卵丘細胞の *CDC20* 発現は患者内 sibling oocytes 間で卵子発生能を高精度に予測する新規分子マーカー候補である

○甲斐 義輝[1]・福嶋 悠人[2]・井上 梓[2,3]・山下 直樹[1]
[1] 山下湘南夢クリニック　高度生殖医療研究所，[2] 理化学研究所 生命医科学研究センター，[3] 東京都立大学 理学部生物学科

O-002　mTOR 阻害による抗がん剤性卵巣毒性の軽減と抗腫瘍効果の両立

○田中 佑治・天野 創・中村 暁子・出口 真理・山中 弘之・稲富 絢子・高橋 顕雅・花田 哲郎・竹林 明枝・岡村 永一・米岡 完・辻 俊一郎
滋賀医科大学

O-003　次世代シークエンサーを用いた顆粒層細胞および卵胞液中の microRNA の制御機構とその作用
～何によって発現し，機能して，選別され，分泌するのか？～

○井上 裕貴[1,2]・杉本 彩嘉[2]・塩谷 雅英[1]・古橋 孝祐[1]・岩田 尚孝[2]
[1] 英ウィメンズクリニック，[2] 東京農業大学大学院

O-004　B6 マウス卵子紡錘体をリアルタイム検出する AI の開発

○山地 莞梧[1]・若山 清香[2]・新保 仁[3]・重藤優太郎[3]・吉川 友也[3]・若山 照彦[2]・竹内 彰一[3]
[1] 山梨大院生命環境，[2] 山梨大院発生工学セ，[3] 千葉工大人工知能セ

O-005　微小重力下における哺乳類卵子の発生

○永松 剛・小浜 智大
山梨大学

O-006　顆粒層細胞の追加法を用いた新規ウシ初期胞状卵胞発育方法の開発と検証

○後小路浩太・杉本 彩嘉・岩田 尚孝
東京農業大学

一般演題 2（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　10:10-11:10　第 2 会場

タイムラプス①（臨床）　**座長：家田 祥子（みなとみらい夢クリニック）**

O-007　iDAScore の継続的なスコア動態から得た時間区分別の臨床結果予測

○奥山 紀之[1]・石井 実佳[1]・大平 凛[1]・岡田 綾加[1]・中澤 穂[1]・服部 裕充[1,2,3]・笠原 佑太[1,2,3]・吉永 光希[1]・橋本 朋子[1]・京野 廣一[1,2,3]
[1] 京野アートクリニック高輪，[2] 京野アートクリニック仙台，[3] 京野アートクリニック盛岡

O-008　胚盤胞到達時間と iDAScore の組み合わせによる出生予測精度の年齢層別評価

○長谷川千尋[1]・奥山 紀之[1]・大平 凜[1]・服部 裕充[1,2,3]・笠原 佑太[1,2,3]・吉永 光希[1]・橋本 朋子[1]・京野 廣一[1,2,3]

[1]京野アートクリニック高輪，[2]京野アートクリニック仙台，[3]京野アートクリニック盛岡

O-009　1PN 胚の 2 倍体識別における包括的 Time-lapse パラメータ解析 - 非侵襲的予測モデルの構築

○辻 暖永[1,2]・大島帆乃佳[1,2]・野老美紀子[1,2]・福永 憲隆[1,2]・浅田 義正[1,2]

[1]医療法人浅田レディースクリニック，[2]浅田生殖医療研究所

O-010　PGT-A 正倍数性胚における時空間 Radiomics 解析を用いた細胞質テクスチャによる出生転帰予測

○森本 高史[1,2,3]・大原 康弘[1]・竹内 巧[1]・石川 智基[1]・村山 嘉延[2]・原口 亮[3]

[1]リプロダクションクリニック東京，[2]東京科学大学大学院，[3]兵庫県立大学大学院

O-011　Reverse Cleavage(RC) が複数回見られた胚の臨床的有用性の検討

○大村 直輝[1]・杉下 陽堂[1]・小林 彩[1]・水落 桃子[1]・羽太 優希[1]・伊藤かほり[2]・髙橋由香里[2]・遠藤 美幸[1]・小峰 祝敏[1]・有地あかね[1,2]

[1]田園都市レディースクリニック，[2]田園都市レディースクリニック二子玉川

O-012　胚内ダイナミクス解析を用いた非侵襲的胚評価の検討：
Gardner 分類では捉えきれない動的指標による客観的評価体系の可能性

○嶋田 耕育[1]・船曳友里恵[1]・金子いずみ[2]・吉田 雅司[2]・佐藤 未来[2]・有泉 怜一[2]・大出 暁子[2]・米倉 敏哉[2]・武内 大輝[3]・緒方 洋美[4]・熊澤 惠一[5]・長村登紀子[6]

[1]エルピクセル株式会社，[2]株式会社 EXORPHIA，[3]三重大学 医学部附属病院 産科婦人科，
[4]オガタファミリークリニック，[5]東京大学大学院 医学系研究科 産婦人科学講座，
[6]東京大学医科学研究所 附属病院 幹細胞治療センター 体性幹細胞研究分野 セルプロセッシング・輸血部

一般演題 3（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　11:20-12:20　第 2 会場

接合子・胚①（臨床）

座長：浜谷 敏生（藤田医科大学臨床再生医学講座，藤田医科大学東京・先端医療研究センター 羽田クリニック・リプロダクションセンター）

O-013　ICSI の穿刺孔から内部細胞塊が突出する胚における成績低下を防ぐための試み

○田中 啓子・水本 茂利・長尾 洋三・鈴木 美緒・大坪可奈子・小柳 沙織・影山 美桜・氏福 幸来・北島真優子・本田浄太朗・園 菜々美・魚住 彩紗・鷹巣 剛・蔵本 和孝・江夏 悠介・大塚未砂子・吉岡 尚美・蔵本 武志

蔵本ウイメンズクリニック

O-014　難治性不妊症例に対する前核期における透明帯除去法により得られた胚盤胞の融解移植後の臨床妊娠例における出生児所見について

○湯本啓太郎・杉嶋美奈子・川本実乃里・志村 陶子・山口 葉子・田邉 望美・TsounapiPanagiota・桑田日佳里・山田 佳奈・角 和香・尾崎 智哉・見尾 保幸

ミオ・ファティリティ・クリニック

O-015　培養液別にみた C-IVF および ICSI における胚盤胞形成率の検討

○中野 達也[1]・中岡 義晴[1]・森本 義晴[2]

[1]医療法人三慧会 IVF なんばクリニック，[2]医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック

O-016　cIVF 後の裸化直前に評価した卵子卵丘細胞複合体分解所見は受精結果を反映する

○川島 健一・川島友里奈・永田 雅子・小松 沙織・森 杏奈・野瀬麻悠香・近藤 彩・濵島 雅代・大村 昂平・波多野久昭・久慈 直昭・田中 宏明

医療法人社団隆聖会 Noah ART Clinic 武蔵小杉

O-017　当院における 2.1PN 胚の臨床成績および臨床的有用性の検討

○日野沙也加[1]・杉山 陽大[1]・鈴木 麻以[1]・松井 友波[1]・大石 彩加[1]・清水 佑菜[1]・石川 立[1]・和泉香菜子[1]・
川合 優菜[1]・星田 汐美[1]・榊原 由佳[1]・宋 修平[1,2]・南波 美沙[1]・宮野奈緒美[1]・村林 奈緒[1,2]・
山口和香佐[1]・俵 史子[1]
[1] 医療法人社団俵 IVF クリニック，[2] 浜松医科大学　生殖周産期医学講座

O-018　胚の染色体異数性に対する男性年齢の影響

○村上 加奈[1,2]・辻 暖永[1,2]・福永 憲隆[1,2]・浅田 義正[1,2]
[1] 医療法人浅田レディースクリニック，[2] 浅田生殖医療研究所

一般演題 4（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　13:40-14:40　第 2 会場

タイムラプス②（臨床）　**座長：福永 憲隆（医療法人浅田レディースクリニック　培養研究部）**

O-019　タイムラプスインキュベーターを用いた胚盤胞径による臨床妊娠予測の検討

○鎌倉 沙樹・杉山 夢乃・小熊 惇平・佐藤 渚・小川 奈津・野村 昌男・古井 憲司

O-020　AI 評価を含む胚盤胞の正倍数性に関連する因子とその予測能の検討

○小林 充・古川 悦子・杉岡なつみ・大山 沙保・松本 美咲・立花 祐希・金子 拓也・宮本 千愛・木暮 真理・
櫻井 友義・古谷 正敬・三木 明徳・大村伸一郎
さくら・はるねクリニック銀座
クリニックママ

O-021　Gardner 分類と AI 評価の併用による妊娠予測精度の向上：iDAScore ver2.0 を用いた検討

○赤尾 咲来[1]・水田 真平[1,2]・黒田 愛美[2]・野口 真紀[2]・竹内 巧[2]・松林 秀彦[1,2]・石川 智基[1,2]
[1] リプロダクションクリニック大阪，[2] リプロダクションクリニック東京

O-022　正倍数性胚，モザイク胚，異数性胚の間で発生速度は異なるか？

○渡邉 陽子・畑 景子・三浦 貴弘・大塚 未沙・頼 英美・関根 仁樹・原 鐵晃・兒玉 尚志
県立広島病院　生殖医療科

O-023　非 PGT 周期の初回単一胚盤胞移植における iDAScore 導入効果
― 流産率および生産率への影響の検討 ―

○佐藤 学・森本 義晴
HORAC グランフロント大阪クリニック

O-024　胚盤胞収縮と妊娠・生産との関連：Day5 胚と Day6 胚の比較

○平田 麗・永井 春香・青木 瞳・小郷 真文・花谷 美香・山崎 浩美・氏平 聖子・田口 可奈・斉藤 寛恵・
青井 陽子・川原 結貴・川上 典子・羽原 俊宏・林 伸旨
岡山二人クリニック

一般演題 5（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　14:50-15:50　第 2 会場

精子・精巣①（臨床）　**座長：北島 道夫（高木病院女性医療センター / 国際医療福祉大学）**

O-025　体外受精後の胚発育と相関関係を示す精液パラメータの探索

○天野 賢治・大井川智子・徳田由紀子・一澤晃一朗・土屋 貴裕・古居真由子・竹内晋次郎・伊藤 歩・
梅村なほみ・福田 雄介・小林 秀行・片桐由起子
東邦大学医療センター大森病院　リプロダクションセンター

O-026　ART における精子老化による胚発育・妊娠成績への影響

○沖田 愛理・中村 千夏・松下ゆうき・徳永友里恵・上田真理奈・池田 早希・畑野 理加・森崎真璃菜・
三好 潤也・河野 哲郎・小山 伸夫
医療法人聖命愛会　ART 女性クリニック

O-027　膜構造を利用した 2 種類の精子選別法における精子所見および培養成績の比較検討

○杉本 菜月[1]・内堀 翔[1]・中野 達也[1]・カンカーナム　ガマゲ　サナトウダヤンガ[2]・中岡 義晴[1]・
森本 義晴[2]
[1]医療法人三慧会 IVF なんばクリニック，[2]医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック

O-028　膜構造を用いた精子選別デバイス ZyMōtTM および SwimCountTM Harvester における培養成績の比較

○武田 里美・渡邉 英明・畠山 将太・山城 恵美・篠原 恵・川瀬絵理香・浅野 栞・森田恵理華・
脇田美紗子・田畑さくら・白井安砂子・木村 将貴・堀川 隆・丸山 哲夫・小代 裕子・高見澤 聡・
中川 浩次・杉山 力一
杉山産婦人科 新宿

O-029　無精子症の原因別にみた精巣内精子採取術 (TESE) における精子回収率と臨床成績

○土井 和昂[1]・水田 新平[1,2]・岩本 佑佳[1]・土井 啓介[1]・山口 耕平[1]・竹内 巧[2]・松林 秀彦[1]・石川 智基[1,2]
[1]リプロダクションクリニック大阪，[2]リプロダクションクリニック東京

O-030　TESE ICSI における新鮮精子と凍結精子の胚発生および臨床成績の比較

○人見 裕子・田中亜理佐・小川 優紀・田村明日香・久保田 健・田村 出・山口 剛史・渡邉由美子・
石川 弘伸・渡邉 浩彦
栄産会　醍醐渡辺クリニック

一般演題 6（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　16:00-16:40　第 2 会場

精子・精巣②（基礎・臨床）　座長：山下 泰尚（県立広島大学大学院総合学術研究科 生物資源学部生命環境学科　生命科学コース）

O-031　マウスを用いた約 250 km 施設間長距離遠隔 ICSI の検証

○小林 達也[1]・樋口 香子[1]・江藤 智生[2]・青山 忠義[3]・乾 優花[1]・斎藤 朱里[4]・藏本 吾郎[1]・及川 彰太[5]・
榊原依里子[5]・大場 敬生[6]・高根沢聡太[6]・永森玲於奈[6]・宮村 浩徳[7]・西尾 永司[7]・西澤 春紀[7]・
浜谷 敏生[1]
[1]藤田医科大学東京 先端医療研究センター リプロダクションセンター，[2]実中研 生殖工学研究室，
[3]名古屋大学大学院工学研究科機械システム工学専攻，[4]藤田医科大学 大学院　医療科学研究科
生殖補助医療分野，[5]藤田医科大学病院 臨床検査部，[6]株式会社ニコンソリューションズ，
[7]藤田医科大学 医学部 産婦人科学

O-032　マウスセルトリ培養細胞の少数からの増殖に関する検討

○荒木 泰行[1,2]・丸山 奈穂[3]・佐藤 雄一[3]
[1]群馬パース大学 医療技術学部 検査技術学科，[2]群馬パース大学大学院 保健科学研究科，
[3]医療法人館出張佐藤会 高崎 ART クリニック

O-033　Tysnd1 欠損マウスの雄性不妊発症機構の解明

○水野 由美[1,2]・水野 洋介[2,3]・石原 由夏[2]・梶原 健[1]
[1]埼玉医科大学　産科・婦人科，[2]埼玉医科大学　中央研究施設，[3]埼玉医科大学 ゲノム医療科

O-034　未染色精子頭部画像に基づく視覚的評価と DNA 二本鎖切断との一致性の検討

○武田 優奈[1]・棚瀬 将康[1]・川越 雄太[2]・水谷 永輔[1]・池内 真志[3]・佐藤 琢磨[4]・丸山 裕也[1]・
河村 和弘[2]
[1]株式会社アークス，[2]順天堂大学大学院医学研究科産婦人科，[3]東京科学大学 生体材料工学研究所，
[4]表参道 ART クリニック

一般演題 7（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　9:00-10:00　第 3 会場

ICSI（臨床）　座長：中條 隼大（亀田 IVF クリニック幕張　培養課）

O-035　Piezo-ICSI における紡錘体位置と穿刺位置における受精率・培養成績の検討

○福嶋 文吉・水谷 百絵・宮本 敏信・小松 保則
六本木レディースクリニック

O-036　透明帯付着精子を用いた ICSI の有効性の検討

○杉嶋美奈子・湯本啓太郎・川本実乃里・志村 陶子・山口 葉子・田邉 望美・PanagiotaTsounapi・
桑田日佳里・山田 佳奈・角 和香・尾崎 智哉・見尾 保幸
ミオ・ファティリティ・クリニック リプロダクティブセンター

O-037　2 回採精後の体外受精（cIVF）と 1 回採精による顕微授精（ICSI）の培養成績の比較

○山口 葉子・湯本啓太郎・杉嶋美奈子・川本実乃里・志村 陶子・田邉 望美・TsounapiPanagiota・
桑田日佳里・山田 佳奈・角 和香・尾崎 智哉・見尾 保幸
ミオ・ファティリティ・クリニック

O-038　卵子固定デバイスを用いた Piezo-ICSI の卵子変性率と操作時間の検討

○岡本 遼太[1]・魏 興強[1]・大月 純子[1]・片田 雄也[1]・古橋 孝祐[1]・佐伯信一朗[1]・岩本真理子[1]・
高松 祐幸[1]・小寺 花織[1]・山田 弘次[1]・江夏 徳寿[1]・山田 愛[1]・林 奈央[1]・山田 聡[1]・水澤 友利[1]・
柴原 浩章[1]・岡本 恵理[1]・苔口 昭次[1]・後藤 優介[2]・寄田 朋子[2]・向田 哲規[2]・塩谷 雅英[1]
[1] 英ウィメンズクリニック，[2] 広島 HART クリニック

O-039　Piezo ICSI による透明帯穿孔拡大が臨床成績へ及ぼす影響

○齋藤 雅人[1,2]・原口 広史[1]・新屋 芳里[1]・福田 晋也[1]・桝谷 法生[1]・松本 和紀[1]・田中 智基[1]・
岸上 哲士[2,3]・松本玲央奈[1]
[1] 医療法人社団　愛慈会　松本レディース IVF クリニック，[2] 山梨大学　統合応用生命科学専攻，
[3] 山梨大学生命環境学部 / 高度生殖補助技術センター

O-040　PIEZO-ICSI による凍結融解単一胚盤胞移植の妊娠・周産期予後：2 施設後方視的コホート研究

○平岡謙一郎[1,2]・中條 隼大[1]・佐藤 萌[1]・鎌田 裕子[1]・大杉 幹[1]・渡邉 直緒[1]・川井 清考[1,2]
[1] 亀田 IVF クリニック幕張，[2] 東京科学大学

一般演題 8（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　10:10-11:10　第 3 会場

早発卵巣不全・POR（臨床）　　座長：河村 和弘（順天堂大学大学院　医学研究科　産婦人科学）

O-041　早発卵巣不全由来卵子にみられる透明帯の二相性変化：菲薄化を示す初期像と多前核受精増加を伴う所見，ならびに無月経期間延長に伴う再肥厚像

○名古 満・髙橋友里亜・斎藤 朱里・神岡 絵梨・藤澤 亜美・千野真佑里・小谷田舞音・石塚 文平
ローズレディースクリニック

O-042　新規動画解析手法で解明した臍帯 MSC 由来 EV の胚内ダイナミクス制御による IVF 胚質改善効果

○金子いずみ[1]・吉田 雅司[1]・佐藤 未来[1]・米倉 敏哉[1]・有泉 伶一[1]・大出 暁子[1]・岸 フク子[1]・小松 友哉[1]・
田村 健一[1]・高田 靖代[1]・嶋田 耕育[2]・船曳友里恵[2]・緒方 洋美[3]・熊澤 惠一[4]・武内 大輝[5]・
長村登紀子[6]
[1] 株式会社 EXORPHIA，[2] エルピクセル株式会社，[3] オガタファミリークリニック，
[4] 東京大学大学院 医学系研究科 産婦人科学講座，[5] 三重大学 医学部附属病院 産科婦人科，
[6] 東京大学医科学研究所 附属病院 幹細胞治療センター 体性幹細胞研究分野 セルプロセッシング・輸血部

O-043　早発卵巣不全症例由来卵子における形態学的特徴および成熟・受精・培養成績の検討
～ ICSI 施行卵を用いた解析～

○斎藤 朱里・名古 満・神岡 絵梨・小谷田舞音・石塚 文平
ローズレディースクリニック

O-044　卵巣予備能低下症例における GM-CSF 含有培養液の有効性についての検討

○福島 由樹・名古 満・神岡 絵梨・石塚 文平
ローズレディースクリニック

O-045　早発卵巣不全患者における凍結卵子の利用実態：非 POI 症例との比較から見える患者支援の重要性

○笹森 千春[1]・名古 満[1]・河村 和弘[2]・石塚 文平[1]
[1] ローズレディースクリニック，[2] 順天堂大学大学院医学研究科 産科婦人科

O-046　卵巣機能不全症例における卵胞周囲血流の低下：卵巣予備能依存性と個別化卵巣刺激法への応用
○田中 佑佳[1]・井原 基公[2]・石塚 文平[2]・河村 和弘[1]
[1] 順天堂大学大学院産婦人科学講座，[2] ローズレディースクリニック

一般演題 9（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　11:20-12:20　第 3 会場

胚凍結・融解（臨床）　座長：泊 博幸（医療法人アイブイエフ詠田クリニック　培養部）

O-047　臨床的効率性と胚の安全性とのバランスを考慮した 2step 融解プロトコルの検証
○木田 雄大[1,2]・小沼よしみ[1,2]・近藤 史哉[1,2]・福永 憲隆[1,2]・浅田 義正[1,2]
[1] 医療法人　浅田レディースクリニック，[2] 浅田生殖医療研究所

O-048　ワンステップ融解法による胚盤胞移植の妊娠および出産成績
○加藤 麗夏・糸井 史陽・田島 愛子・中村 早紀・森 香菜江・渡邉鈴美香・秋田 真央・東山 雛乃・臼倉 美怜・鎌田 美佳・服部 幸雄
なごや ART クリニック

O-049　4 日目胚盤胞の凍結基準の構築
○渡辺 真一・延廣真由子・一色 里予・内藤 菜月・祖父江紘子・牧野 弘
ぎなんレディースクリニック

O-050　当院における Day4 凍結が融解後の胚盤胞到達および臨床成績に及ぼす影響
○申 美南・髙橋 和政・春日 神奈・千葉 和宏・藤島 綾花・岩澤 卓也・白澤 弘光・熊澤由紀代・寺田 幸弘
秋田大学医学部附属病院産婦人科

O-051　平衡化液浸漬 15 分で体積回復を示さない胚盤胞の融解後成績と妊娠転帰
○濱田 仁[1]・塩谷 仁之[1,2]・岡部 美紀[1]・藤田 真紀[1]・髙橋 敬一[1]
[1] 高橋ウイメンズクリニック，[2] 千葉大学大学院医学研究院　産婦人科

O-052　凍結融解胚移植における回復変化量の定量化と妊娠成績の関連
○好村 彩可・宮村 知子・塚田 恵菜・中島磨理江・渡邊 倫子
桜十字ウィメンズクリニック渋谷

一般演題 10（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　13:40-14:20　第 3 会場

接合子・胚②（基礎）　座長：岩田 尚孝（東京農業大学　農学部）

O-053　mrTRX-1 で処理したマウス初期胚におけるストレス応答シグナルの解析
○下井 岳[1,2]・今村 友亮[2]・亀山 祐一[1,2]
[1] 東京農業大学生物産業学部，[2] 東京農業大学大学院生物産業学研究科

O-054　マウス胚盤胞における一過性高浸透圧曝露がクロロキン感受性に及ぼす影響
○古里咲綺乃[1,2]・杉本 岳[4,5]・倉橋 浩樹[4]・岸上 哲士[1,2,3]
[1] 山梨大学大学院統合応用生命科学専攻，[2] 山梨大学高度生殖補助技術センター，
[3] 山梨大学生命環境学部，[4] 藤田医科大学医科学研究センター 分子遺伝学研究部門，
[5] 神戸元町夢クリニック

O-055　個別培養システムにおける微小環境が刷り込み遺伝子発現に及ぼす影響
○家田 祥子[1]・杉村 智史[2]・嶋村 純[1]・貝嶋 弘恒[1]
[1] みなとみらい夢クリニック，[2] 東京農工大学大学院連合農学研究科

O-056　卵抽出液を用いたマウス体細胞の初期化誘導
○西崎俊太朗[1]・新冨 圭史[2]・北山 晃靖[1]・森 龍之介[3]・山内 伸彦[1]・宮本 圭[1]
[1] 九州大学農学研究院，[2] 理化学研究所，[3] 近畿大学大学院生物理工学研究科

一般演題 11（口演）　2026 年 6 月 6 日（土）　14:30-15:10　第 3 会場

接合子・胚③（基礎）　座長：宮本 圭（九州大学　農学研究院）

O-057　$C_{14}H_{22}N_4O_2$・2HCl（BGP-15）が哺乳類受精卵の発育能を改善する機構に関して
○伊澤智咲子[1]・橋本 周[1]・山中 昌哉[2]・森本 義晴[2]・橘 大介[1]
[1] 大阪公立大学大学院医学研究科，[2]HORAC グランフロント大阪クリニック

O-058　ヒトおよびマウス着床前胚における細胞間ブリッジの動態解析：発生段階による持続時間の変化
○津谷明香里[1]・小野 有紀[1]・後藤真由美[1]・高橋 和政[1]・長谷川久隆[2]・岩澤 卓也[1]・白澤 弘光[1]・福永 憲隆[3]・浅田 義正[3]・熊澤由紀代[1]・寺田 幸弘[1]
[1] 秋田大学大学院医学系研究科産婦人科学講座，[2] 医療法人社団 生新会 木場公園クリニック，[3] 医療法人 浅田レディースクリニック

O-059　新規卵子成熟培養液 bOTM-1 を用いた高性能ウシ胚培養システムの開発
○荻野 柊太[1]・高倉 啓[1]・坂原 聖士[1]・黒谷 玲子[1]・星 宏良[2]・阿部 宏之[1,2]
[1] 山形大学大学院理工学研究科化学・バイオ工学専攻，[2]（株）機能性ペプチド研究所

O-060　ハムスター着床期子宮液が胚発生に及ぼす影響と妊娠受容時期の検討
○森下 奈美[1]・堀内 俊孝[2]
[1] 東京電機大学理工学部，[2] おち夢クリニック名古屋先端生殖医学研究所

一般演題 12（口演）　2026 年 6 月 7 日（日）　9:40-10:30　第 2 会場

卵母細胞②（基礎）　座長：島田 昌之（広島大学大学院　統合生命科学研究科）

O-061　卵巣体細胞のマウス系統差が卵母細胞の成長に及ぼす影響
○三井 悠聖・小浜 智大・永松 剛
山梨大学生命環境学部生命工学科

O-062　IVG 由来卵子における塩化ストロンチウム添加が受精および胚発生に及ぼす影響
○麓 奈央・小浜 智大・永松 剛
山梨大学

O-063　裸化卵子を用いて得られた透明帯付着精子での精子膜融合補助授精法（ASFI）によるヒト凍結卵子の受精および発生能の検討
○髙野 智枝[1,2]・神林 杏奈[1]・HudkovaDaria[1]・畠山 将太[3]・塩谷 仁之[4]・TorresAzul[2]・DajaniYasser[2]・桑山 リオ[1,2]・桑山 正成[1,2]
[1] 株式会社　先端生殖技術研究所，[2]Advanced Fertility Center Cancun，[3] 杉山産婦人科 新宿，[4] 高橋ウィメンズクリニック

O-064　xCT 遺伝子欠損マウスの卵胞培養における酸化ストレスの影響
吉田菜瑞奈[1]・佐藤 英世[2]・○木村 直子[1]
[1] 山形大学大学院・農学研究科，[2] 新潟大学医学部・保健学科

O-065　様々な直径のブタ胞状卵胞由来卵母細胞 - 卵丘細胞の増殖性と細胞間物質輸送能
○竹本 陽菜・若井 拓哉・舟橋 弘晃
岡山大院・環境生命自然

一般演題 13（口演）　2026 年 6 月 7 日（日）　11:30-12:30　第 2 会場

接合子・胚④（臨床）　座長：杉下 陽堂（田園都市レディースクリニック）

O-066　次世代シークエンサー（NGS）と STR 解析を用いた異常受精由来胚盤胞胚の解析
○神田 晶子・衛藤 菜績・矢野 綾音・後藤 香里・甲斐由布子・津野 晃寿・伊東 裕子・後藤 裕子・宇津宮隆史
セント・ルカ産婦人科

O-067　当院における BMI 別 ART 培養成績の検討

○篠原真理子・末永めぐみ・上拾石富士代・脇野 弓穂・山本 芳樹・池田 実優・日髙 直美・小齊平千世佳・伊藤 正信・松田 和洋
松田ウイメンズクリニック

O-068　モザイク胚に対する治療選択戦略と意思決定要因および出産転帰の検討

○杉本 岳・平井 湖々・篠原 一朝・細見 尚子・勝股 克成・河内谷 敏
神戸元町夢クリニック

O-069　胚盤胞バイオプシーにおける機械的透明帯開口を基盤とした手技の実装

○杉本 岳・藤井 篤志・平井 光平・河内谷 敏
神戸元町夢クリニック

O-070　抗セントロメア抗体高値症例における第 2 極体の取り込みに対する極体生検治療戦略

○中山 要[1]・大野 浩史[2]・桂浦 明秀[1]・大原なずな[1]・木下 孝一[1,2]
[1] 京都 IVF クリニック，[2] 木下レディースクリニック

O-071　*ZP3* 遺伝子変異が見つかった難治性不妊症例に対する Zona Pellucida-Free (ZPF) の臨床的意義

○大原なずな[1]・中山 要[1]・大野 浩史[2]・木下 孝一[1,2]
[1] 京都 IVF クリニック，[2] 木下レディースクリニック

一般演題 14（口演）　2026 年 6 月 7 日（日）　13:50-14:40　第 2 会場

タイムラプス③（臨床）　座長：岩瀬 明（群馬大学　産婦人科）

O-072　ヒト初期胚における第二極体位置および初期卵割方向が胚発生と移植後転帰に与える影響

○西野奈緒美[1]・中野 達也[1]・中岡 義晴[1]・森本 義晴[2]
[1] 医療法人三慧会 IVF なんばクリニック，[2] 医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック

O-073　胚盤胞期における胞胚腔収縮の有無と染色体異数性との関連

○山本 晃太・渡邉 英明・畠山 将太・浅野 栞・森田恵理華・田畑さくら・登内 恵美・白井安砂子・堀川 隆・丸山 哲夫・小代 裕子・高見澤 聡・中川 浩次・杉山 力一
杉山産婦人科新宿

O-074　ドライ型タイムラプス培養における UPS 障害事例：24 時間検知不能だった電源喪失

○佐藤 麻弥・高村 将司・府藤 藍・丸茂 雄太・齋藤 良平・上村のぞみ・難波 聡・梶原 健
埼玉医科大学病院

O-075　凍結融解胚移植の妊娠率及び継続妊娠率に対する予測因子
－形態評価と AI スコアリングの寄与度について－

○五味 陽亮[1]・黄 海鵬[2]・宮脇 杏奈[2]・宮前 愛[2]・田淵 希栄[2]・青山 京子[2]・宇佐美拓哉[1]・野口 梨佳[1]・佐藤はづき[1]・源 祥子[1]・柏原聡一郎[1]・宮澤 祐樹[1]・中村 栄信[1]・武井かほり[1]・酒井あゆみ[1]・鮫島 浩輝[2]・成田 達哉[1]・板谷 雪子[1]・松永 茂剛[1]・髙井 泰[2]
[1] 埼玉医科大学総合医療センター　総合周産期母子医療センター母体・胎児部門,
[2] 埼玉医科大学総合医療センター　産婦人科

O-076　iDAScore は胚盤胞移植法選択の指標となり得るか
― BL2 個移植と 2step ET の比較 ―

○堀金 聖羅・佐藤 学・森本 義晴
医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック

一般演題 15（口演）　2026 年 6 月 7 日（日）　9:40-10:30　第 3 会場

卵巣（基礎・臨床）　座長：山田 満稔（慶應義塾大学　医学部産婦人科学教室）

O-077　卵胞液中の免疫細胞プロファイルと初期胚発生との関連

○ Kankanam GamageUdayanga Sanath[1]・山中 昌哉[1]・森本 篤[1]・佐藤 学[1]・橋本 周[2]・森本 義晴[1]
[1]HORAC グランフロント大阪クリニック，[2]IVF なんばクリニック

O-078　ウシの卵巣における *NCAPG* 遺伝子の発現およびタンパク質の立体構造予測について

○吉田 桃菜[1,2]・松本 浩道[3]・福井えみ子[3]

[1] 宇都宮大学院地域創生科学研究科，[2] 中央クリニック，[3] 宇都宮大学農

O-079　採卵前 E2 低値周期では P/E2 比≥ 1.0 が良好胚盤胞形成を低下させる

○江夏 国宏[1]・江夏 徳寿[3]・岡本 恵理[2]・苔口 昭次[2]・塩谷 雅英[2]

[1] 英ウィメンズクリニックにしのみや院，[2] 英ウィメンズクリニック，[3]ENA 山下レディースクリニック

O-080　異なる基剤油を用いた還元型コエンザイム Q10 製剤の血中濃度推移の比較検討

○森本 瞳[1]・岡本 直樹[2]・岩垂 佳奈[3]・細川 忠宏[3]・岡部 美紀[1]・高橋 敬一[1]

[1] 高橋ウイメンズクリニック，[2] 順天堂大学大学院 医学研究科 食と生殖機能先端研究講座，
[3] 株式会社パートナーズ

O-081　PPOS 法で卵巣刺激を行うも GnRH アゴニストトリガーが反応不良であった一例

○上代 傑・左 勝則・小森 由佳・古川 真弓・泉 遼・成見 莉紗・藤本 揚子・杉山 瑞穂・大橋 麻衣・髙田 真佑・藤原 寛行

自治医科大学附属病院　生殖医学センター

一般演題 16（口演）　2026 年 6 月 7 日（日）　11:30-12:30　第 3 会場

妊孕性温存（臨床）　**座長：立花 眞仁（東北大学医学部　周産期医学分野）**

O-082　妊孕性温存目的で精子凍結保存を実施した男性がん患者 104 症例における精液所見の検討

○真柄 怜央[1]・井谷 裕紀[1]・松本 寛史[1]・大垣 彩[1]・水野 里志[1]・藤岡 聡子[1]・福田 愛作[1]・森本 義晴[2]

[1]IVF 大阪クリニック，[2]HORAC グランフロント大阪クリニック

O-083　将来の妊娠に備えた卵子凍結希望者における ART 理解度の地域比較
～東京都と愛知県の実態調査～

○沖津 優[1,2]・辻 暖永[1,2]・福永 憲隆[1,2]・浅田 義正[1,2]

[1] 医療法人浅田レディースクリニック，[2] 浅田生殖医療研究所

O-084　凍結保存精子を用いた高度生殖医療における最適な媒精方法の検討；男性側の妊孕性温存を考察するために

○川口優太郎[1,2,3]・佐藤 萌恵[1]・峯 麻美[1]・田村 和美[1]・武川明香里[1]・竹内亜利砂[1]

[1] 一般社団法人 生殖医療センター 生殖医療クリニック錦糸町駅前院，
[2] リプロダクティブサポートファーム東京，[3] 株式会社ファミワン

O-085　化学療法（IDA + AraC）施行中に妊孕性温存採卵を試みた急性骨髄性白血病（AML）の 4 例

○洞下 由記[1]・森田 明里[1]・吉川 純弥[1]・山谷 佳子[1]・金子 英恵[1]・出田 莉央[1]・松山 夏美[1]・中嶋真理子[1]・中村健太郎[1]・鈴木 由妃[2]・高江 正道[1]・柿沼 敏行[3]・鈴木 直[1]

[1] 聖マリアンナ医科大学　産婦人科学，[2] 聖マリアンナ医科大学　難病治療研究センター　診断治療法開発・創薬部門，[3] 聖マリアンナ医科大学　横浜市西部病院　産婦人科

O-086　当院における乳がん患者に対する生殖補助医療の臨床成績と安全性の検討

○徳岡 旭・山田 満稔・茨 美彩・北山 晶菜・白石 慧・佐久間萌子・大岡 令奈・松沢 優一・祝井 麻希・佐々木拓幸・上條慎太郎・内田 明花・宇津野宏樹・田中 守

慶應義塾大学

O-087　当院における卵巣組織凍結の現状と課題

○源 祥子[1]・柏原聡一郎[1]・宮下真奈美[1]・宇佐美拓哉[1]・野口 梨佳[1]・佐藤はづき[1]・武井かほり[1]・鮫島 浩輝[2]・五味 陽亮[1]・一瀬俊一郎[3]・成田 達哉[1]・板谷 雪子[2]・松永 茂剛[2]・髙井 泰[2]

[1] 埼玉医科大学総合医療センター　総合周産期母子医療センター　母体・胎児部門，
[2] 埼玉医科大学総合医療センター　産婦人科，[3] 赤心堂病院　産婦人科

一般演題 17（口演）　2026 年 6 月 7 日（日）　13:50-14:40　第 3 会場

着床（臨床）

座長：片桐 由起子（東邦大学医学部　産婦人科学講座）

O-088　ヒアルロン酸含有濃度の違いが単一凍結融解胚盤胞移植の妊娠成績に及ぼす影響の検討

○山上 一樹・田中 里美・古橋 孝祐・江夏 国宏・柴原 浩章・岡本 恵理・苔口 昭次・塩谷 雅英
医療法人社団 英ウィメンズクリニック

O-089　異なる高濃度ヒアルロン酸含有培養液を用いた胚移植成績の比較

○坂井 和貴・伊木朱有美・河知 美佳・青井 英里・野手 健造・長谷川麻理・鍋田 基生
つばきウイメンズクリニック

O-090　ART における *L.iners* 検出症例に対する治療介入の有用性

○青井 英里[1]・長谷川麻理[1]・河知 美佳[1]・野手 健造[1]・坂井 和貴[1]・田中 克[2]・芦川 享大[2]・嶋田 美穂[2]・伊木朱有美[1]・鍋田 基生[1]
[1] つばきウイメンズクリニック，[2]Varinos 株式会社

O-091　年齢および胚評価別にみた高濃度ヒアルロン酸含有培養液使用時の胚盤胞移植成績

○玉田いつみ[1]・中野 達也[1]・中岡 義晴[1]・森本 義晴[2]
[1] 医療法人三慧会 IVF なんばクリニック，[2] 医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック

O-092　当グループで使用した 2 種類の高濃度ヒアルロン酸含有移植用培養液の妊娠成績の比較

○大山 由香[1]・小幡隆一郎[2]・小池 遼佑[1]・柳川 絹子[1]・松原 直樹[1]
[1] にしたん ART クリニック新宿院，[2] にしたん ART クリニック品川院

ポスター　2026 年 6 月 6 日（土）・6 月 7 日（日）　ポスター会場

受精（基礎）

P-001　セロトニン受容体アゴニストのマウス精子運動性と体外受精への影響

○藤ノ木政勝
獨協医科大学先端医科学研究センター生殖医学研究室

P-002　卵巣刺激法の違いによるマウス ICSI の成績の差異

○久我 彰[1]・立花 眞仁[1]・菅原 淳史[2]・佐藤 壮樹[1]・新沼さくら[1]・竹澤 美紀[1]・高橋 友梨[1]・高橋 藍子[1]・横山 絵美[1]・渡邉 善[1]・齋藤 昌利[1]
[1] 東北大学病院産婦人科，[2] 東北大学大学院農学研究科 動物生殖科学分野

卵母細胞（基礎）

P-003　若齢期ドキソルビシン投与が性成熟後のマウス卵子機能と妊孕性に及ぼす影響

○小林みずほ[1]・柴田 迅[1]・渡邉まりの[1]・福田 怜莉[1]・渡辺 晃成[1]・安中 健人[1]・Kenneth Selape[1]・山城 秀昭[2]
[1] 新潟大学自然科学研究科，[2] 新潟大学農学部

P-004　低栄養が卵母細胞内のミトコンドリアの活性および分布に与える影響

○川上 心也・大堀 桜子・西山 貴望・佐藤 萌絵
新潟医療福祉大学

P-005　シングルコピーレポーター遺伝子を用いたマウス卵子形成の追跡

○池田 晋也[1]・坂谷 滋子[1]・尾畑やよい[2]・外丸 祐介[1]
[1] 広島大学・自然科学研究支援開発センター，[2] 東京農業大学・バイオサイエンス学科

接合子・胚（基礎）

P-006　4D imaging が捉えるマウス初期胚の核内構造動態

○杉田 優佳[1]・堀居 拓郎[2]・宮川 靖基[1]・小林 良祐[2]・山内 伸彦[1]・畑田 出穂[2]・宮本 圭[1]
[1] 九州大学　農学研究院，[2] 群馬大学　生体調節研究所　生体情報ゲノムリソースセンター

P-007　ヒト多能性幹細胞の naïve 化へのリセッティングと安定化培養条件の検討
Evaluating Culture Conditions for Resetting and Stabilizing Naïve Pluripotency in Human Pluripotent Stem Cells
○松本 順子・阿久津英憲
国立成育医療研究センター研究所　再生医療センター

P-008　アミノ酸がマウス胚盤胞の CDX2 発現に及ぼす影響
松本 結衣・○小川 英彦
東農大バイオ

P-009　PrE は基底膜形成と過度な収縮運動の抑制に寄与する
○西村 彩英・小川 英彦
東京農業大学大学院

卵母細胞（基礎）

P-010　CE-FTMS によるウシ卵母細胞のメタボローム解析の検討
○乾 文未香[1]・亀田 崇史[2]・世良 京香[1]・津賀 健士[3]・井口 和樹[4]・坂野 新太[5]・松川 和嗣[5]
[1] 高知大学大学院，[2] 愛媛大学連合農学研究科，[3] 大阪大学蛋白質研究所，
[4] ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社，[5] 高知大学農林海洋科学部

PGT（臨床）

P-011　使用済み胚培養液を用いた非侵襲的着床前遺伝学的検査 (niPGT-M) における診断精度に影響する因子の検討
○佐藤はづき[1]・難波 聡[2,3]・志食 絵理[2]・鶴岡 恵[2]・上村のぞみ[2,3]・成塚 裕亮[2,4]・水野 洋介[2,4]・柳原 玲[5]・倉橋 浩樹[5]・佐々木志野[6]・林 直樹[6]・髙井 泰[7]・亀井 良政[3]
[1] 埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター母体胎児部門，[2] 埼玉医科大学病院ゲノム医療科，[3] 埼玉医科大学病院産婦人科，[4] 埼玉医科大学病院中央研究施設形態部門，[5] 藤田医科大学医科学研究センター分子遺伝学研究部門，[6] ウィメンズクリニックふじみ野，[7] 埼玉医科大学総合医療センター産婦人科

P-012　PGT-A の正倍数性胚移植における培養日数と形態評価が妊娠率に与える影響
○八木亜希子・田中 恵美・平山 奈美・齋藤 美希・齋藤 梓・齊藤 未来・寶柳みゆき・後藤 愛架・田中 裕香・戸井 千夏・西村日茉里・藤井タケル・滝本可奈子・川俣 美帆・小澤 順子・岩見菜々子・渡邊 恵理・伊藤 直樹・森若 治・神谷 博文
神谷レディースクリニック

受精（臨床）

P-013　媒精時間の違いが胚発生率に及ぼす影響
○立花 亮太[1]・真柄 栄梨[1]・西垣戸晴子[3]・中谷 悠生[3]・小野寺悠月[3]・武内 大輝[1,2]
[1] 三重大学医学部付属病院　高度生殖医療センター，[2] 三重大学大学院　医学系研究科　産科婦人科学，[3] 済生会松坂総合病院　ART 生殖医療センター

P-014　Lens Hooke CA0 ™を用いた精子選択術が胚発育不良症例の培養成績に与える影響
○高橋 美紀[1]・浅野 悠香[1]・室井 美樹[1]・鈴木 一生[1,2]・木島 敏樹[1,2]・鈴木 達也[1,3]
[1] 獨協医科大学病院 リプロダクションセンター，[2] 獨協医科大学 泌尿器科，
[3] 獨協医科大学 産科婦人科

P-015　cIVF における媒精量の影響と精子条件の関係
○野瀬麻悠香・川島 健一・川島友里奈・永田 雅子・小松 沙織・森 杏奈・平石 颯楽・近藤 彩・濵島 雅代・大村 昂平・波多野久昭・久慈 直昭・田中 宏明
医療法人社団隆聖会 Noah ART Clinic 武蔵小杉

P-016　ZyMot ™を用いた精子選択術の有用性の検討
○佐藤 苑実・西山和加子・山口 美佳・山口 麻美・古賀 加恋・荒巻 未優・小嶋 沙希・副島 樺奈・渡邊ありさ・有馬 薫・野見山真理・北島 道夫
医療法人社団 高邦会 高木病院 生殖医療センター

接合子・胚（臨床）

P-017　当院における脂肪酸添加融解液を使用した凍結融解胚盤胞移植の臨床成績

○杉本 貴章・浜井 晴喜・奥村光樹子・寺村 聡子・清水聡一郎・渡士 真由・牛山 夏妃・大濱 尚子・早川ひとみ・前田 美友・繁田 実
府中のぞみクリニック

P-018　流産絨毛染色体検査における SNP アレイの補完的役割：培養不成功例からの教訓

○貝原 賢二
貝原レディースクリニック

P-019　当院におけるゴナール F とレコベルの採卵成績の検討

○山下 由貴[1]・原田 枝美[1]・麻生 咲季[1]・尾石 友子[1]・岡本真実子[1]・河野 康志[2]・小林 栄仁[1]
[1]大分大学医学部附属病院　産科婦人科，[2]大分大学　医学部　おおいた地域医療支援システム構築事業講座　産婦人科分野

P-020　患者年齢別にみた低乳酸培養液が良好胚盤胞形成に及ぼす影響

○黒田 真優・嶽川 亮子・加藤 千晶・大味由梨佳・永野 愛子・高橋 瞬・河合 綾子・石塚 潮音・村尾 深月・北野 孝満・菊地 盤
医療法人社団桐杏会メディカルパークみなとみらい

P-021　当院へ移送された胚の臨床成績

○森 香菜江・糸井 史陽・中村 早紀・渡邉鈴美香・加藤 麗夏・秋田 真央・東山 雛乃・臼倉 美怜・堀口奈央子・田島 愛子・鎌田 美佳・服部 幸雄
なごや ART クリニック

P-022　2 種類の高濃度ヒアルロン酸含有培養液を用いた凍結融解胚盤胞移植における妊娠率の比較検討

○徳田由紀子[1]・大井川智子[1]・天野 賢治[1]・一澤晃一朗[1]・土屋 貴裕[1]・古居真由子[1]・竹内晋次郎[1]・伊藤 歩[1]・梅村なほみ[1]・福田 雄介[1,2]・小林 秀行[1]・片桐由起子[1]
[1]東邦大学医療センター大森病院　リプロダクションセンター，[2]福田ウイメンズクリニック

P-023　保険適用化における凍結胚数制限は凍結胚保管管理や治療成績に影響するか

○星田 汐美[1]・山口和香佐[1]・榊原 由佳[1]・川合 優菜[1]・日野沙也加[1]・和泉香菜子[1]・石川 立[1]・大石 彩加[1]・清水 佑菜[1]・鈴木 麻以[1]・松井 友波[1]・杉山 陽大[1]・南波 美沙[1]・宮野奈緒美[1]・村林 奈緒[1,2]・俵 史子[1]
[1]俵 IVF クリニック，[2]浜松医科大学　生殖周産期医学講座

P-024　3 種類のヒアルロン酸含有移植培養液における妊娠成績の比較

○嶋田 孝紀・福嶋 文吉・水谷 百絵・宮本 敏伸・小松 保則
六本木レディースクリニック

P-025　保険移植 1 回目における Assisted Hatching の有用性の検討

○清水 雅司・山口 桂子・深川 隆恭・古池 章・田中 秀明・池田沙矢子・佐野 美保
小牧市民病院　生殖医療センター

P-026　巨大な第一極体を有する卵子に関する検討

○斉藤 寛恵・平田 麗・永井 春香・青木 瞳・小郷 真文・花谷 美香・山崎 浩美・氏平 聖子・田口 可奈・青井 陽子・川原 結貴・川上 典子・増本 由美・小坂由紀子・寺田さなえ・吉岡奈々子・羽原 俊宏・林 伸旨
岡山二人クリニック

P-027　胚盤胞凍結時の Dual artificial shrinkage の有用性

○中井 康弘・堅田 千晶・大橋いく子・中東 久子・岡本 明子・中井 美緒・矢野 浩史
医療法人　矢野産婦人科

タイムラプス（臨床）

P-028　胚盤胞における細胞質ストリングスの総形成数は臨床妊娠に影響を与えるか

○島津茉里奈・岸田 理英・菅野 弘基・結城 笑香・眞山 那美・坂本 葵・佐々木郁弥・山田 綺羅・戸石川柊輔・髙橋 渚・春日 悠伽・菊地 裕幸・西澤 圭織・品川 真澄・淵之上康平・吉田 仁秋
仙台 ART クリニック

P-029　遺残割球の胚選択指標としての有用性

○花谷 美香・平田 麗・清水 春香・青木 瞳・小郷 真文・山崎 浩美・氏平 聖子・田口 可奈・川原 結貴・斉藤 寛恵・青井 陽子・川上 典子・増本 由美・小坂由紀子・寺田さなえ・吉岡奈々子・羽原 俊宏・林 伸旨
岡山二人クリニック

P-030　Embryo ranking intelligent classification assistant（ERiCA）の生産の予測能 : ERiCA の胚選択の特徴について

○伊藤 歩[1,2]・大井川智子[2]・天野 賢治[2]・徳田由紀子[2]・一澤晃一郎[2]・土屋 貴裕[1,2]・古居真由子[1,2]・梅村なほみ[1,2]・片桐由起子[1,2]・中田 雅彦[1]
[1] 東邦大学医学部産科婦人科学講座, [2] 東邦大学医療センター大森病院リプロダクションセンター

P-031　人工知能 LifeWhisperer を用いたスコア評価と当院分類の臨床成績の比較検討

○鈴木 美春・松山 茜・秋山 千春・徳永 誠
医療法人令和会　徳永産婦人科

P-032　胚盤胞期に TE 細胞が透明帯から漏出するも妊娠に至った 1 症例

○田口めぐみ・近藤千加子・吉田 亜紀・厚海 早紀・樋口 敦彦・坂口健一朗
三軒茶屋 Art クリニック

P-033　16,000 周期の解析からみた ICSI 後卵細胞質突出（protrusion）の特徴

○真田 美穂[1]・水田 真平[1,2]・成宮有里佳[2]・和田 綾乃[2]・佐藤 拓哉[1]・安藤 環[1]・中村 暖菜[1]・松林 秀彦[1,2]・竹内 巧[1]・石川 智基[1,2]
[1] リプロダクションクリニック東京, [2] リプロダクションクリニック大阪

妊孕性温存（臨床）

P-034　初経未発女児から卵子凍結を施行しえた 2 例

○宮下真奈美[1]・坂口 史奈[1]・野口 梨佳[1]・佐藤はづき[1]・源 祥子[1]・柏原聡一郎[1]・大野 麻美[2]・武井かほり[1]・鮫島 浩輝[2]・五味 陽亮[1]・成田 達哉[1]・板谷 雪子[2]・松永 茂剛[1]・菊池 昭彦[1]・髙井 泰[2]
[1] 埼玉医科大学総合医療センター　総合周産期母子医療センター 母体胎児部門,
[2] 埼玉医科大学総合医療センター　産婦人科

P-035　卵子凍結実施施設別にみた卵子融解の成績

○河合 綾子・嶽川 亮子・加藤 千晶・大味由梨佳・永野 愛子・高橋 瞬・石塚 潮音・黒田 真優・村尾 深月・北野 孝満・菊地 盤
医療法人社団桐杏会　メディカルパークみなとみらい

着床（臨床）

P-036　ERA で non-Receptive と判定された症例における臨床妊娠率の検討

○川島友里奈・川島 健一・小松 沙織・永田 雅子・森 杏奈・野瀬麻悠香・近藤 彩・濵島 雅代・大村 昂平・波多野久昭・久慈 直昭・田中 宏明
医療法人社団隆聖会 Noah ART Clinic 武蔵小杉

P-037　ホルモン補充周期におけるプロゲステロン投与前および移植日エストラジオール値の妊娠成績への影響

○樋口 奈穂・栗原 甲妃・森宗 愛菜・後藤 栄
医療法人後藤レディースクリニック

P-038　胚移植における至適位置に関する検討
—妊娠率向上に寄与する独立した技術的要因の解析—

○村尾 深月・嶽川 亮子・加藤 千晶・大味由梨佳・永野 愛子・高橋 瞬・河合 綾子・石塚 潮音・黒田 真優・北野 孝満・菊地 盤
医療法人社団桐杏会　メディカルパークみなとみらい

受精（臨床）

P-039　採卵翌日成熟卵に対する ICSI の培養成績と臨床成績

○小林 彩[1]・杉下 陽堂[1]・水落 桃子[1]・羽太 優希[1]・伊藤かほり[2]・髙橋由香里[1]・遠藤 美幸[1]・小峰 祝敏[1]・大村 直輝[1]・有地あかね[1]・河村 寿宏[1]
[1] 田園都市レディースクリニック, [2] 田園都市レディースクリニック　二子玉川